

あげお 議会だより



元気^{あぜよし}に遊んで 夏を満喫！(畔吉保育所)

●主な内容

市長の提案説明	2～3 P
委員会の主な審査内容・討論	3～5 P
請願の結果	4 P
永年勤続議員表彰	5 P
提出議案とその結果	6 P
市政に対する一般質問	7～11 P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと	12 P

平成16年6月定例会日程

6月7日	開会、議案の上程 提出議案の説明 議案に対する質疑、委員会付託
6月9日	総務・建設水道常任委員会
6月10日	文教経済・福祉消防常任委員会
6月14日	議案第43号の上程、委員長報告、 採決、一般質問
6月15日	一般質問
6月16日	一般質問
6月17日	一般質問
6月22日	委員長報告、討論、採決 議員提出議案の上程、 採決、閉会

6月定例会

中学生中国海外派遣事業などを含む 一般会計補正予算、(仮称)平方分署の 工事請負契約など 21 議案を可決



《(仮称)平方分署の完成予想図

6月定例会で審議した議案は、市長提出議案が16件、議員提出議案が5件の計21件で、すべて原案のとおり可決・承認・同意しました。

市長の提案説明から

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正については年度開始後間もないことから、その後の情勢の変化や緊急性を勘案し、作成しました。その結果、補正額は2,131万2,000円となり、累計額が549億3,931万2,000円となりました。

主な内容は、**総務事業**として今年度の中学生海外派遣事業に係る関連経費を新たに計上しました。この事業は、平成16年3月に国際交流を通して、国際的な視野を養うことを目的として中学生を海外に派遣し、中国杭州市の名門「学軍中学」との交流や家庭訪問により、好評をいただきました。杭州市とは、現地に自動車製造の日中合弁企業がある関係で、以前から民間交流があり、上尾市・杭州市

の友好交流関係の覚書も交わり、今後とも積極的に交流を展開していきたいと考えています。

また、防犯効果の向上のため、少年愛護センター活動車両の改修経費を計上したほか、県の補助事業で、市町村道における交通事故を削減することを目的として緊急市町村道安全対策事業に伴う経費を新たに計上しました。

福祉事業では、社会福祉事業のためにいただいた寄附金を社会福祉協議会特別補助金と、社会福祉基金の積立金として計上しました。

商工事業では、埼玉県都市競艇組合補助金の増額に伴い、あげお花火大会協賛金を増額計上したほか、全国商工会議所青年部連合会の関東ブロック大会上尾大会の今年度の開催予定に伴い、商工会議所補助金を増額計上しました。

教育事業では、英語指導助手の民間委託化に伴い、関連予算を減額



6月定例会市長の提案説明

2市1町(上尾市・桶川市・伊奈町)の合併協議準備会は解散



合併協議準備会から

合併による魅力あるまちづくりを実現することを目的に上尾市議会合併推進協議会(議員25名で構成)が設立されたことは先の議会日より(No125号)でお知らせしたところです。

その後2市1町による合併問題は、上尾市議会が「まずは合併協議準備会を設置し、準備会で基本的事項に関し合意できれば、正式な合併協議会へ移行・発展させる」という考え方を桶川市に伝え、各市・町それぞれ10人(首長他、議員など)の委員によって構成される合併協議準備会が、4月12日に設置されました。5月22日、5月29日と延べ3回にわたり準備会が開催され、合併の方式、市の名称、市役所の位置などの合併の基本的事項について意見交換を行いました。合併の方式について合意に至らず解散となりました。

その後上尾市と伊奈町の議会合併推進協議会の間で、7月初旬現在、両市・町の合併の可能性について検討しています。

補正しました。

また、県の委託事業であり学力向上の研究を目的とした「彩の国バイオニアスクール事業」と、同じく県の委託事業で「あんしんまちづくり学校パトロール事業」の実施に伴う関連経費を新たに計上しました。

以上が主な歳出ですが、これを賄う財源として、県支出金、寄附金、繰越金などを見込みました。

○条例その他

上尾市訪問入浴サービス手数料条例の一部を改正する条例の制定については、訪問入浴サービスの手数料について、身体障害者福祉法に基づく指定居宅支援等に係る利用者負担の額の算定に関する基

準に準じた改正を行いたいので、提案するものです。

上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定については、上尾都市計画地区計画の変更に伴い、建築物の構造及び敷地について制限することのできる地区計画の区域を追加するほか、規定の整備を行いたいので、提案するものです。

議案第43号 工事請負契約の締結については、芝川小学校A・B棟大規模改修工事(建築工事)に関する工事請負契約を締結するため、定めるところにより提案するものです。

議案第44号 工事請負契約の締結

結については、(仮称)平方分署建設工事(建築工事)に関する工事請負契約を締結するため、定めるところにより提案するものです。

議案第46号 専決処分承認を求めることについては、地方税法及び国有資産等所在市町村交付金及び納付金に関する法律の一部を改正する法律及びその関係政省令が平成16年3月31日に公布された。

これに伴い、緊急に上尾市税条例及び上尾市国民健康保険税条例を改正する必要が生じ、同日上尾市税条例及び上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、定めるところにより提案するものです。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された各議案などを審査しました。以下、一般会計補正予算や条例などの審査の過程で取り上げられた主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算 市内中学生の中国海外派遣事業を引き続き実施



中国杭州市、学軍中学校で2人1組で風船割りを通じ交流を深める

〈予算メモ〉 国際交流を通して国際的な視野を養うことを目的に、平成15年度事業として中国杭州市に本年3月、4泊5日の日程で中学生などを派遣し、現地の中学校や家庭の訪問などを行った。杭州市において継続的に交流を深めたことへの強い要望があり本年の夏休



中国杭州市の位置

みを利用して中学生30人、同行者14人の計44人を派遣予定。1,009万3,000円を計上。
委員 引率者が多過ぎると思われるが。

答 引率者が多くなった理由は、覚書を締結する中で、行政交流、経済交流、文化教育交流などさまざまな交流を推進したいとの杭州市の要望があり、上尾市としても単なる中学生を派遣するだけでなく、今後はいろいろな交流をする上で国際交流協会の役割が大きくなることを考慮した。

委員 杭州市と交流を深めるという事で覚書が交わされている。その中に議会に対し事前の相談もなく、「議長名」や「上尾市議会」などの記載がされている。これは国際的な問題で重要なことである。議会に一応の相談があつて然るべきなのに議会軽視ではないか。どのような経緯で記載されたものなのか。

また、中国と日本には深い歴史的不ないきさつ、深刻な関係の歴史

などもあり、参加する中学生にとつては十分な学習や事前の取り組みが必要だと考える。行程表を見ると観光が非常に多いような印象を受けるが。

答 覚書については、時間的余裕のない切羽詰った状態で、杭州市の希望を受けて締結する形となった。また、行程については、中学生の交流や家庭訪問のほかに、歴史ある建造物や、発展している中国を見てもらい、これからの時代を担う青少年の今後の人生に生かしてほしいとの思いで企画した。

委員 さちんと目的を明確にして、表題も検討すべきと思う。財政状況が厳しく市民の負担が増えている中で行う事業であり、3月に行ったことをしっかりと総括して、教育委員会、教育現場、国際交流協会など、いろいろな分野で論議を重ねさちんと計画すべきである。

委員 若い人が国際交流を行い、学ぶことは良いことであり、事業名は変えなくてもよいと思う。ただし、あくまでも中学生の文化交流、教育を目的にしているならば、生徒を増やして引率者を最小限に抑えるべきである。

文教経済常任委員会

補正予算

彩の国バイオニクススクール事業を実施

〈予算メモ〉 県教育委員会が児

童・生徒一人ひとりに確かな学力の定着を図るために県内の15市町村委員会に研究委嘱。平成16年度研究委嘱が認められ上尾小学校と鴨川小学校で実施。事業委託金として26万円を計上。

委員 この事業については、学力向上が目的だと思うが、どのような形で取り組んでいるのか。

答 小学校における教科担任制の実施と効果に関する研究、それと習熟度別指導などによる少人数指導の工夫改善に関する研究をするものだ。また大学生が学習支援ボランティアとして、授業の補助や放課後の補充学習で入り子どもたちの学力向上を図るものだ。

契約 芝川小学校の大規模改造工事を実施



大規模改造工事を実施する芝川小学校

○工事請負契約の締結

芝川小学校のA・B棟大規模改造工事(建築工事)を行うものです。

契約金額は、2億3,205万円。
委員 今回、芝川小学校の改修工事が継続事業になるということ、今後改修を待っている学校に影響が出ないか。

答 次年度以降の大規模改修工事について遅れが出たり、補助金の申請が出来なくなるといふ事はなく、次年度、予定どおり芝川小学校のC・D棟を考えている。

委員 トイレの改修についてもアンケートをとり、大変力を入れていると聞いているが、改修の概要を伺いたい。

答 予定では、和式を1つ、それ以外は洋式を考えている。また、アンケートの結果でも、暗いとの回答があったので明るくすることも考えている。

福祉消防常任委員会

補正予算 旧大石学童保育所を心身障害者地域デイケア施設に整備

〈予算メモ〉 旧大石学童保育所の施設を今後心身障害者地域デイケア施設として活用するための土地賃借料として46万2,000円を計上。

委員 経緯と今後の見通しについて伺いたい。

答 旧大石学童保育所を解体する予定であったが、県立ひばりが丘養護学校に通学している子どもたちの保護者から、この施設を卒

業後の自立訓練の場として運営していきたいとの申し出があった。地主の了解が取れたので4月にさかのぼり賃借料を払うことになり補正をお願いした。市としては肢体不自由児を対象とした施設整備は重要な課題と認識しながらも受入れ体制が整わず、今回の申し出は貴重であると考えている。今後重度の身体障害者施設として整備替えをするに当たっては一定の改修が必要であるので検討したい。

契約 (仮称)平方分署の建築工事を実施



(仮称)平方分署建設予定地(平方地内)

○工事請負契約の締結

(仮称)平方分署建築工事を行うものです。契約金額は3億5,070万円。

委員 消防分署、支所、図書室の複合施設とのことだが面積区分を伺いたい。

▶請願の結果▶

市民の皆さんから提出された請願は、委員会審査を経て6月22日の本会議で採決し、3件を採択しました。

採択された請願

▽義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

上尾市本町三丁目2番22号 北足立北部教育会館内
代表者 上尾市教職員組合 執行委員長 斉藤忠男 外256人

▽容器包装リサイクル法の改正に向けて国に意見書の提出を求める請願
上尾市中妻五丁目11番4号
代表者 生活クラブ生活協同組合上尾支部 東地区委員長 安藤由美子 外618人

▽乳幼児医療費無料制度の所得制限の撤廃を求める請願
住所 上尾市本町一丁目1番5号遠山ビル215
代表者 新日本婦人の会上尾支部 増田悦子

☆詳しくは会議録やインターネットで

市議会では、定例会や臨時会ごとに「上尾市議会会議録」を発行しています。議会事務局、図書館、各支所・出張所、情報公開コーナーなどで閲覧できます。
☎議会事務局(☎775-9467)
<http://www.gikai.ago.saitama.jp>



武藤 政春

佐野 昭夫

熊谷 昇

永年勤続議員

在職20年

特別表彰される

全国市議会議長会、関東市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の各定例総会で武藤政春議員、佐野昭夫議員の現職議員と熊谷 昇前議員が永年勤続20年として表彰されました。 議席順（敬称略）

答 平方分署の面積が794・41平方メートル、支所が361・16平方メートル、図書室が284・86平方メートルで共用部分として1・2階合わせて240・05平方メートルである。

委員 多くの市民が期待しているものであるが、この分署の体制について伺いたい。

答 平成17年4月1日の開署時には、水槽付き消防ポンプ自動車1台、連絡車1台で、人員としては15名体制で発足する予定である。18年4月1日には救急車の導入を予定しその時点では25名体制を最終的に考えている。

委員 災害というのはどういう形で起きるとも限らない。付近住民が安心するよう体制を整えて対応して欲しい。

委員 平方分署については支所と図書室を兼ねる複合施設であるが、消防事務と図書室、支所との複合の点で工夫した点を伺いたい。

答 防音対策としてカーテンウォールを二重ガラスにしている。6ミリ厚のガラスを2枚重ね、その間に12ミリのカーテンウォールである。25デシベルぐらいは、騒音を遮断できる。また支所と図書室との境目のドアは音楽室で使用するような隙間をなくすドアを設置したり、2階の窓についてはなるべく開口部を少なく設計して遮音性を高めている。

緊急市町村道

安全対策事業を実施

補正予算
〈予算メモ〉 交通事故の発生率の高い地域、上尾市内では本町三丁目と愛宕三丁目を対象に信号機を設置、道路標識の設置、滑り止めカラー舗装、自発光式の交差点びよりの整備など837万9,000円を計上。

委員 なぜこの2カ所が選定されたのか。

答 市町村道の中で交通事故の多発する場所であり、歩行者の人身事故の約5割、子ども、高齢者の人身事故の約6割が自宅から半径約500メートル以内で発生していることを考慮して選定された。

建設水道常任委員会

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例を制定

○上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定

この条例は上尾都市計画地区計画の変更に伴い、建築物の構造及び敷地について制限することのできる地区計画の区域（はらいち台団地地区）を追加するほか規定の整備を行うために制定するものです。

委員 はらいち台団地地区については、屋上突出部分は当該建築

物の高さに算入するとなっていて、建築基準法との整合性が取れないと思うがどうなっているのか。

答 はらいち台団地地区については、地区の住民の間で十分な協議を行い、その協議の中で、10メートルを超えて屋上突出物がある場合、10メートル以上の建築物と同じような感覚になり好ましくない」と判断して、屋上突出物についても当該建築物の高さに算入するという別段の定めをしたものである。

今議会で決まった人事

人権擁護委員に

畑 孝雄氏
高橋 淳氏

人権擁護委員 畑 孝雄氏、高橋 淳氏の任期は、平成16年12月31日で満了となるため、両氏を再び推薦することについて意見を求められ全会一致で異議なき旨答申しました。

▽畑 孝雄氏／68歳
住所は上尾市菅谷三丁目128番地

▽高橋 淳氏／67歳
住所は上尾市泉台二丁目20番地2

反対討論 要旨

一般会計補正予算に次の点で反対する。

中学生の海外派遣事業について、中学生が対象なのに教育委員会や学校現場での十分な検討がされていない。行程表を見ると交流よりも観光が多い。上尾市と杭州市と

の間で交わされた覚書では市議会の名前が入っているが、事前に何の相談もなく議会軽視である。市と市で交わした覚書の中に、一企業の名前が入っていることや、随行者が多過ぎることなどの問題がある。

本年3月の経験をよく検証し論議を深め本来の目的が達成できるように見直しをすべきである。

議案第46号 専決処分の承認を求めることについて次の点で反対する。

小泉内閣の三位一体改革は、住民に穴埋めのための増税を押し付けている。今回の税改正に伴う内容は、高齢者控除の廃止と個人住民税の増税、非課税限度額の引き下げなど低所得者に負担のかかるものばかりである。家計所得が減っているなかでの増税は景気の一層の悪化につながる。増税ではなく減税こそ必要である。

議案第46号 専決処分の承認を求めることについて次の点で反対する。

現状は、税金を払いたくてもそれが難しい人も多い。一昔前は一生懸命働けば収入が上がった。今は必死に働いても給料が上がらない状況である。所得のない人からも税金を取るのはいかがなものか。小泉内閣は小さな市町村が生き延びないような施策を行っている。国の施策だから仕方がないというのではなく市民の側に立って反対すべきである。

平成16年6月定例会提出議案とその結果

◎市長提出議案（16件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
議案第34号	平成16年度上尾市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	×	○	○	○	×
議案第35号	平成16年度上尾市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第36号	上尾市租税特別措置法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第37号	上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第38号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第39号	上尾市訪問入浴サービス手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第40号	上尾市福祉作業所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第41号	上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第42号	上尾市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第43号	工事請負契約の締結について 〈芝川小学校A・B棟大規模改造工事〉	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第44号	工事請負契約の締結について〈(仮称)平方分署建設工事〉	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて 〈芝川小学校校舎大規模改造工事費を継続費へ〉	原案承認	○	○	○	○	○	○
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて 〈市税条例及び国民健康保険税条例の一部改正〉	原案承認	○	×	○	○	○	△
議案第47号	固定資産評価員の選任について〈資産税課長〉	原案同意	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 答申	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 答申	○	○	○	○	○	○

◎議員提出議案（5件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
議第8号議案	緊急地域雇用創出特別交付金の拡充・継続を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第9号議案	地方交付税の大幅削減の中止を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第10号議案	介護予防対策の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第11号議案	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第12号議案	容器包装リサイクル法の改正を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○

◎請願（3件）

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
請願第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採 択	○	○	○	○	○	○
請願第4号	容器包装リサイクル法の改正に向けて国に意見書の提出を求める請願	採 択	○	○	○	○	○	○
請願第5号	乳幼児医療費無料制度の所得制限の撤廃を求める請願	採 択	○	○	×	○	○	○

市政に対する一般質問

ここが問題 そこが聞きたい

行財政一般

県防犯まちづくり支援事業補助金の活用を

問 県は、今年度防犯まちづくり事業を実施する方針で市町村に対し補助対象事業費の3分の2を補助している。そこで補助を受け、防犯施策を実施する考えがあるのか伺いたい。

答 県は、身近な犯罪の防止を図ることを目的として、防犯まちづくりを推進するため、市町村が行う事業に対して補助金を交付することを3月議会で可決し、4月から施行している。

市では、犯罪から子どもたちを守るため、昨年から市内小・中学校の全児童・生徒に防犯ブザーを配布したところである。また、上尾警察署と上尾地方防犯協会から委嘱された防犯推進員約500人が、市内各地区において防犯パト

ロール隊を組んで地域内のパトロールを実施している。県防犯まちづくり支援事業補助金については、関係各課と調整を図り9月補正に向けて進めていきたい。

市文化センターの充実を

問 市文化センターは昨年改装が行われ、内装が充実し、見た目もとても明るく、市民に大変好評である。

答 そこでさらに充実し、市民が安心して使いやすい施設にするため野外照明の充実と子どもの遊戯スペースの確保について伺いたい。

現在商工会議所前の駐車場に大型電球2基を備えた照明灯を8本、南側の駐車場に3本設置している。しかし、春から秋にかけては、桜の木が照明を少し遮っているため、今後桜の木のせん定作業なども含めて十分な照明効果が得られるように検討していきたい。

6月定例会の一般質問は、6月14・15・16・17日の4日間行われ、23人の議員が登壇し、市政全般55項目にわたって市当局の見解を求めました。また、この4日間で143人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。

子どもの遊戯スペースの確保については、集会室の一部を改装することも考えられるが、他の集会室と隣接してしまうため、他の利用客に迷惑をかけることも考えられる。現状では遊戯スペースを新たに確保することは難しい。



昨年名称を改め、リニューアルオープンした市文化センター

国の三位一体改革に対し市の財政対応は

問 国は地方への税源移譲の前提として、2006年度までに総額3兆円の補助金を廃止するとしている。このような状況

に市はこれからも対応していけるのか。また数年にまたがる大規模事業を完成させるためには、どのような財政政策をとるのか伺いたい。

答 今後の三位一体改革の状況にもよるが、行財政改革の推進により既存経費の見直しを徹底して、行政をスリム化し、市民にとって真に必要な高い事業への財源配分をしていくことによ

って、来年度以降も継続的な財政運営が可能であると考えている。現在の市の財政状況は、市税が伸び悩む一方、民生費などが増加するなど財政構造の硬直化が避けられない状況になっており、政策的経費に使える財源は限られている現状である。三位一体改革は、国庫補助金の改革に応じた税源移譲に結びつくものを中心に推進すべきと認識している。

また、大規模事業については、行財政3カ年実施計画の中で実施可能な範囲で検討していきたい。

将来のまちづくりと合併問題は

問 住民の声に耳を傾け、住民と行政と議会が一体となつてまちづくりを進めていくことが求められている。そこで合併特例法の法定期限が残り少なくなつた現在、合併を選択しない自治体

6月定例会の一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

島村 充

・防犯対策と支援事業補助金申請

・健康増進施策とねたきり老人ゼロ運動

・小・中学校の授業時間の弾力化

田中 元三郎

・資源ごみのリサイクル

・上尾市の介護保険の運営状況

・吉野原今羽線の上尾市側への延伸

深山 孝

・防災対策

・教育問題

清水 義憲

・都市計画道路、西宮下中妻線

・健康増進法

・ライフスキル（生きる力）教育

・在住外国人（外国籍市民）への行政サービス

野本 順一

・交通対策

・ウォーキング道路

永吉 勇

・上尾伊奈斎場つつじ苑の環境対策

・年金問題

答 全国の市町村がそれぞれ歴史、文化、伝統を守りながら将来のまちづくりの展望を見据えており、まちづくりのための方策は、まさに市町村の数だけあると言っても過言ではない。合併するという選択も、合併しないという選択もそれぞれの市町村が自ら培ってきた文化や伝統を踏まえ、その上で将来のまちづくりの展望に照らしながら行った結果であると認識している。

上尾市においても、これまでの経過もあるが、議会とも相談しながら判断をしていきたい。

合併による行財政上の効果は

問 今回の上尾市、桶川市、伊奈町の2市1町での合併問題については、合意に至らず不調に終わったが、合併協議の目的と理念は何であったのか。

また、上尾市、伊奈町の1市1町が合併した場合の行財政上の効果について伺いたい。

答 2市1町の合併協議に参加したことは、さまざまな課題に対応するために、合併を通じて魅力ある、住民福祉の向上につながるまちづくりを行うことが、一つの選択肢として検討すべき課



今後のまちづくりは（市庁舎から東側方面を望む）

題であると認識したからである。

また、上尾市と伊奈町が仮に合併した場合は、スポーツ施設や文化施設などの公共施設が効果的に配置され、類似施設の重複がなくなり、各自自治体で支出している経費が統合される。また、職員や議員数を相対的には減らすこともでき、人件費の削減効果も得られる。

このように、行財政的観点からは一定の効果があるものと考えられる。

福祉・保健

生活保護基準引き下げに 対する受給者への対応は

問 物価の変動や高齢加算の削減などにより、生活保護基準が引き下げられている。受給

者の暮らしの状況を的確に把握し相談活動を行うべきと思うが、市としてどのように対応していくのか伺いたい。

答 生活保護行政においては、生活に困窮する人に最低生活を保障できるよう日々努めている。また疾病や障害の状況、子どもの養育の状況、就業環境などを家庭訪問、病状調査など的確に把握し、その能力に応じた自立した社会生活ができるよう、ケースワークを進めていきたいと考えている。

また、高齢加算の削減に対しては、高齢者の生活が成り立つよう、各種減免制度の活用や無駄な出費をなくす工夫など、今まで以上に相談活動を行うとともに、国・県には、隣接のさいたま市と同じ1級地への引き上げについて、引き続き要望していきたい。

介護及び疾病予防の 推進状況は

問 高齢化が進む中で、国の施策として21世紀における国民健康づくり運動、いわゆる健康日本21が進められている。

そこで、市の第2期介護保険事業計画の介護及び疾病予防の推進状況について伺いたい。

答 介護予防については、昨年

合会の主催で、生活の一部に運動を取り入れ、食生活、住環境、経済などに関する課題を解消し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的とした介護予防教室を開催した。平成16年度は名称を「すこやか教室」と変更し6月から7か所のいきいきクラブで開催している。

また、疾病予防については、がん、心臓病、脳卒中など生活習慣病予防のための各種検診事業を実施している。この検診で要指導と判定された場合は、個別による健康相談や健康教室などを行うことにより対応している。

健康診断の受診率 向上への対応は

問 他市と比べて上尾市は、各種健康診断の受診率が低い。これをどのように受け止めているのか。また、周知方法や今後の対応についても伺いたい。

答 各検診における受診率の向上は、健康増進施策を推進していく上で、大変に重要な課題であると認識している。各種検診について市では、予防検診一覧表、市の広報紙、ホームページなどで周知に努めている。さらに基本健康診査と大腸がん検診については継続的な検診を勧めるため前年度または前々年度の受診者に対

- ・ 橋北 富雄
- ・ 市文化センターの充実
- ・ 水道事業
- ・ 教育行政
- ・ 道下 文男
- ・ 福祉政策
- ・ 防犯対策
- ・ 鴨田 幸子
- ・ 子どもを取り巻く環境対策
- ・ 市民の健康な生活
- ・ 伊藤 美佐子
- ・ 福祉行政
- ・ 防災行政
- ・ 市政一般
- ・ 児玉 晋
- ・ 住民参加の「まちづくり」を
- ・ 学童保育の充実
- ・ 秋山 かほる
- ・ 建設予定の平方分署
- ・ 市の防災対策
- ・ 政府の三位一体改革に対する市の認識
- ・ 武藤 政春
- ・ 地方行政推進に当たったの諸課題への対応
- ・ 学校教育の充実を図る上での諸課題への対応
- ・ 松木 清作
- ・ 勤労者住宅資金貸付制度
- ・ 青少年問題
- ・ 教育問題
- ・ 信号機設置
- ・ 谷澤 公彦
- ・ 安心・安全なまちづくり
- ・ 上尾市の将来像

し受診券を送付している。
今後においても、疾病の早期発見、早期治療を目指すため、他市の実施の状況などを参考にしながら各種検診の受診率向上に向け検討を重ねていきたい。

年金問題に対する市民の反応は

問 昨今の年金問題で市民の窓口相談は増加しているのか。また、その相談内容は。さらに、若者の未加入に対する対策などはどのように考えているのか。

答 本年1月から5月までの相談件数は7,984件で昨年同時期と比べ10%の増である。また、新聞、テレビなどの報道による関心の高まりで、電話による問い合わせや相談も数多く寄せられている。相談内容としては、受給資格はあるのか、資格の手続きが正しくされているか、手帳を複数持っているが、どうすればいいか、未納があると受給権がなくなってしまうのか、保険料を支払うのが困難であるなど、受給資格に関することが主な内容である。

また、若い人にも分かりやすいパンフレットの全戸配布や成人式などでの啓発活動に努めており、今後もさまざまな観点から未納対策や無年金者の防止に国と連携を図りながら取り組んでいきたい。

つくし学園の療育時間の延長、施設の老朽化に対する対応は

問 つくし学園の療育時間の延長について、また施設の老朽化に対する今後の対応について伺いたい。

答 つくし学園での園児の日常は、朝10時に通園バスで登園し、午前中は園児の成長や発達段階に合わせたクラス別指導、昼食、午後からは簡単な自由遊びと昼寝の後、午後3時の降園となっている。療育時間の延長については、園児の生活全般や障害の状況、体力などを十分配慮しながら、つくし学園の機能と併せ、保護者の支援を含めた施策として可能なのか、検討していきたい。

さらに、障害児療育の拠点として、建物、設備についても計画的な改善が必要と考えており、事業計画、財政面などの調整を図りな



障害児の保育・療育通園施設つくし学園

都市整備

から施設の老朽化の対応に向け、適宜改善に取り組んでいきたい。

水害対策として浸透ますの設置を

問 水害対策の一番の効果は河川改修をすることだが、

同時に各戸に浸透ますを設置することが治水対策として効果が上がると聞いている。そこで、経費の助成をすることにより、設置率が上がると思うが、どのように考えているのか伺いたい。

答 洪水被害の対策として、河川改修に加え、雨水を少しでも河川に流出させないことが有効な対策と思われる。市では、市開発行為等に関する指導要綱に該当する開発事業に対して、浸透ますや貯留施設の設置を指導しているところである。しかし、指導要綱に該当しない住宅については、浸透ますなどの排水施設に対する市民の関心が低いことや個人負担の問題などからなかなか設置が進まないのが現状である。

今年度は、県内各市町村の取り組み事例を踏まえ、各戸に浸透ますなど排水施設の設置促進や、助成制度を含め洪水被害の軽減対策の推進に努力していきたい。

上尾駅東口前一方通行を相互通行に

問 現在、氷川鉄神社から山道へ向かう道路は一本しかなく、朝夕は交通混雑がひどく、利用者は大変な不便を感じている。そこで、駅前からの一方通行を相互通行にすることにより、交通混雑を解消できるのではないかと

答 一方通行を相互通行にすることにについては、多くの車両あるいは周辺道路への影響があり、その沿道にかかわる住民の同意はもとより、隣接する事務区などの了解が幅広く必要となってくる。所轄の上尾警察署としても、住民の要望を前提に関係機関と協議、調整を図りながら、慎重に進めたいとのことである。市としても、上尾警察署と連携のもと、関係機関、事務区長などの協力を得ながら上尾駅東口周辺全体の交通体系を見直す中で道路交通環境の整備を図っていきたい。

吉野原今羽線の上尾市側への延伸の考えは

問 吉野原今羽線は上尾道路までの重要な道路として利用でき、川越上尾線の17号方面へ

- 佐野 昭夫
- ・ 今後の「上尾市」づくり
- ・ 鴨川水害防止
- ・ 高齢者健康増進
- ・ 市文化センター大ホールに化粧室の設置を
- ・ 保育事業
- 遠藤 朝子
- ・ 暮らしを守る生活保護行政を

- ・ 市民の暮らしを守るために安心して働き続けられる市役所職場環境を
- 糟谷 珠紀
- ・ 未来ある若者の就職難支援を
- ・ 市民の立場に立ったごみ行政を

- 西村 テル子
- ・ 安心して受けられる介護保険制度を
- ・ 健康増進事業の充実
- 岡野 喜一
- ・ (仮称) 仲町谷津線と駅周辺整備

- ・ 市の防犯対策
- 鍵山 節子
- ・ 水害をなくして安心・安全なまちを
- ・ 学校施設の改築改修
- 森島 岐代子
- ・ 住民が主人公の市政と合併問題

の交通量の緩和などに大きな成果がある」と期待している。そこで上尾市側への延伸を含めた道路計画の考えを伺いたい。

答

吉野原今羽線は幅員12メートルの都市計画道路で今年3月に丁R高崎線の立体交差部分の供用が開始され、国道16号線からさいたま市北区奈良町団地までの鴨川まで通行が可能となっている。市としては、国道16号線と上尾道路の連絡道路としての役割を果たすことから整備が必要な路線であると認識している。

また、大谷南部地区まちづくり計画の中では、自然を残したまちづくりを進めていく方針である。さらに戸崎まちづくり協議会など、地域の意見も調整しながら、都市計画道路や生活道路としての役目も担うことができる連続性のある道路ネットワークとなることが必要であると考えている。

鴨川流域の水害対策は

問

鴨川流域では宅地開発や農地の埋め立てなどによって、保水や遊水機能が低下し、河川に流入する雨水が増大し、低地部で水害が発生している。そこで雨水対策について伺いたい。

答

水害対策として、鴨川からの逆流を防ぐため逆流防

止弁の設置が考えられるが、河川水位が上昇すると逆流防止弁が働かず、低地部の内水位が上昇するため、排水ポンプの整備も有効な手段と考える。内水の強制排水は状況に応じて可搬式のポンプを手配することで対応したい。常設ポンプによる強制排水については、河川管理者である県との協議が必要であり今後検討していきたい。

また、雨水流抑制施設として鴨川流域の小・中学校11校に雨水貯留浸透施設を整備した場合、水害対策として大きな効果が期待できる。今後、施設整備を含め関係機関と協議検討していきたい。

西宮下中妻線の全面開通の見通しは

問

都市計画道路西宮下中妻線の全面開通に向け早期着手を要望しているが、市民体育館通り（上尾平方線）以南についてのこれまでの費用とその経過、また、残りの区間の今後の見通しについて伺いたい。

答

市民体育館通りから南側一方通行道路までの延長345メートルの区間は、平成4年度に用地買収を開始し、平成13年度から道路整備を実施し、昨年12月にしゅん工したところである。この事業費は、用地買収費及び補償費が約22億4,000万円、本



早期の全面開通が求められている西宮下中妻線

工事費は電線地中化を含め約2億6,000万円となっている。開通にあたっては、相互通行させる予定で、大型車の進入禁止、信号機設置、通学路の一部変更、歩行者の安全対策などの協議を現在上尾警察署などで行っている。

また、駅周辺での交通渋滞を考えると残りの区間、県道川越上尾線までの約665メートルについても、地域住民の協力を得ながら完成させることが必要であり努力していきたいと考えている。

環境・産業

大型店出店に対する市の見解は

問

小敷谷地内の大正製薬所等地に、県内最大級の商業施設の開発が予定されていると聞き、地域住民の関心が非常に高ま

っている。そこで、大規模小売店舗立地法などもあるが、地方自治体は住民の暮らしを守る立場に立ち、開発者に住民の声を反映させる取り組みをすべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答

規制緩和により大規模小売店舗立地法は経済的規制がなくなり、大型店の出店がしやすくなった。また地元対策の義務が法的になくなった。この法律の趣旨を踏まえると、大型店の出店に対して直接市が主体となり、市民との協議を働きかけることについては、大変難しい状況である。

しかし、市としては市民の声を踏まえたまちづくりを進めるという観点から十分検討し対応していきたいと考えている。

ガス充てん施設に対する防災対策は

問

平方地区に建設中のガスの危険性が生じた場合などの地区住民への防災対策や、防災マップ作成の考えを伺いたい。

答

ガス充てん施設の保安検査は、高圧ガス保安法に基づき県が行うことになっている。同法では必要であると認められるときは、立入検査の権限も県に与えられていることから、県との連携を密にして、災害防止に努めて

いきたいと考えている。

また、市域を超えた広域の避難場所として、さいたま市、桶川市、伊奈町、及び蓮田市、さらに川越市を含め協定を結び、避難場所を確保するとともに、より安全な地域への避難路、避難方法などについて自主防災会をはじめ地域住民と検討していきたい。防災マップについては、高度かつ専門的分野で難しい課題であるが、住民の安全と安心のため危険物行政の課題として研究していきたい。

未来ある若者の就職支援を

問

現在、若者の就職難は非常に深刻で社会的問題となっている。原因は、大企業が新規採用を大幅に減らし正社員雇用を激減させていることなどがある。

市は若者の就職難についてどのような認識を持っているのか。また、若者を対象にした就職相談窓口設置の取り組みを伺いたい。

答

若者の雇用機会の拡大や職業的自立促進は、早急かつ重要な課題であると認識している。大官職業安定所・県では就職支援として、就職促進員による学校と連携した求人開拓、インターネットによる求人情報の提供、職場見学、就職面接会などを行っている。また、高校の進路指導担当者に対

上尾駅東口前交差点の横断方法は

しても、セミナーの開催やハローワークにおける実務経験機会の提供など就職指導の支援を行っている。市では、これらの国、県などの就職サポートセンターなどを活用するようPRに努めている。

また、若者の相談窓口の設置については、関係機関と協議を重ねながら取り組んでいきたい。

問

最近、上尾駅東口前交差点がスクランブル交差点のような歩車分離交差点に改善され、交通緩和に大変役立つている。しかし、歩行者や自転車利用者からどの信号を確認すればよいか分りにくいとの声がある。そこで、この信号機について伺いたい。

答

上尾駅東口前交差点については、本年3月26日に、



上尾駅東口前、歩車分離交差点

歩行者と車両がそれぞれ区別された状態で信号機に従って横断する歩車分離交差点に改良された。

歩行者は歩行者専用信号機に従って交差点に進入することができ

るが、スクランブル交差点のように斜め方向に横断歩道がないため斜め横断はできないものとなっている。また、自転車は、道路交通法上車両であり、自動車と同様にこの信号機を横断しなければならぬが、現状では歩行者用信号機に従って横断する自転車が数多く見られることから、自転車の横断スペースの確保と、歩行者用信号機で自転車も横断できるような改善を警察署に要望していきたい。

教育

学校のOA機器の整備状況は

問

市情報化基本計画の中で「学校教育の情報化の一層強化」とあるが、IT化に向けたOA機器の整備状況について伺いたい。

答

OA機器の整備状況については、教育用パソコンとして各小・中学校のコンピュータ教室に42台ずつの計1,386台を計画的に整備しているところである。また、管理用パソコンと

して各小学校の職員室などに2台ずつ、中学校に4台ずつを学校事務処理の効率化を図るために設置したところである。さらに、インターネット利用が可能なパソコンとして各小・中学校の職員室及び図書室に各1台ずつの計66台を整備、活用しているところである。

なお、今年度中に地域インターネットの接続に切り替えられ、インターネットの高速化が図られる予定である。

小・中学校における洋式トイレの設置状況は

問

洋式便器が家庭で普及したため、和式便器の使い方に慣れない子どもが多いと聞くが、小・中学校における洋式トイレの設置状況と、障害者やけがをした子どもに対する専用トイレの設置や今後の対応について伺いたい。

答

現在の洋式便器の設置状況は、小学校では1校当たり平均14台全校で320台、中学校では1校平均16台全校で180台設置している。また身障者用トイレについては、個室となっている身障者専用トイレは小学校で4校、その他車いすや補助用具使用の児童が通う学校には、小便器に手すりの設置や、トイレブースを広げて車いすでも入れるような工

夫をしている。今後必要に応じて、便器の洋式化を図り、身障者やけがをした子どもにも対応できるような改修工事を実施していきたいと考えている。

校庭の芝生化の考えは



富士見小学校校庭

問

今やゴルフ、サッカー、ラグビー、野球と芝生上の競技を多く目にするようになった。校庭の芝生化については、教育上の効果と合わせ、環境面でもかなり効果があると言われている。そこで、新しい教育環境作りの一環として校庭の芝生化についての見解を伺いたい。

答

緑化された校庭は、学習活動に多様性と安全性をもたらす効果や、周辺への砂じんの飛散を緩和する効果、雨の後のぬかるみの防止など、環境保全上の効果がある。反面、短所として改

善に莫大な費用が掛かること、土の上で行う競技もあること、芝張り当初は養生のため半年ほど校庭が使えないこと、維持管理に手間がかかることなどが挙げられる。

当面、校庭の全面芝生化については、取り組みが大変難しい状況であるが、部分的な対応については、今後の検討課題としたい。

不登校児童・生徒への携帯電話やメールの活用を

問

不登校児童・生徒への対応で、携帯電話やメールなどの活用について3月定例会で提案したが、その後の取り組みについて伺いたい。

答

教育委員会としては、これまで家庭訪問や電話などにより不登校児童・生徒及び保護者の具体的な状況や要望の把握に努めてきた。しかし、引きこもり傾向にある児童・生徒への支援については、まだ十分な状況とは言えない部分もある。

今後、教育相談主任会議やさわやか相談室研修会などを開催し、訪問や電話だけではなく、電子メールなどの活用も検討していきたいと考えている。さらに、実現に向けては個人情報管理、セキュリティの確保などの体制を整え、対象児童・生徒の情報環境などの調査を進めたい。

傍聴席からひとこと



すがまてるみ
須釜昭美さん
(上)

議会の傍聴に初めて来ました。議場は立派でさわやかな印象を受けましたが、傍聴席の位置がもう少し低ければと感じました。

傍聴をして、これからは高齢者が健康を維持するための施設が必要だと思いました。

また、防犯の関係で、議員さんが自らボランティア活動をしていると聞き、感動しました。今後も積極的に傍聴に訪れ、議員さん選びの参考にさせていただきます。

他市に住んでいますが、知り合いを通じて議会の傍聴に来ました。議場の中は素晴らしく、国会中継とは少し違って、静かな感じがしました。一般質問のやり



まるやみかこ
丸谷美香子さん
(泉台在勤)

とりでは、ベテランの議員さんが自分の言葉で市側の担当者を見ながら質問していてさすがだなと思いましたが、市側の答弁は少し聞き取りにくいところがありました。

また、市役所内は、禁煙になっているようですが、玄関先での喫煙は見た目に良くないと思います。

編集後記

6月の定例会が終了しました。記事にも掲載されましたように、提出された議案とは別に、議員個人

の立場から市政全般に関して執行機関の方針を問う一般質問に、23人の議員が登壇しました。どの議員、どの質問も個性があり、また市政に対する真摯な考え方を垣間見ることができ、私のような新人議員には大変勉強になることばかりです。

今回は9月の定例会です、皆さんの選んだ議員がどのように活動しているのか、一度議会に傍聴に来てみませんか。(清水)

～議会報編集委員～

- 遠藤朝子、谷澤公彦、清水義憲、島村 稜、深山 孝、島村 充、児玉 晋、鴨田幸子

－「議会だより」は再生紙を使用しています－



△ 上尾西保育所を現地調査する
福祉消防常任委員会

委員会活動

H16.4.14→H16.7.15

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	5. 10	●電子自治体の構築について視察(岡山市)
	5. 11	●政策評価制度について視察(久留米市)
	5. 12	●すくすくプラザについて視察(春日市)
	6. 9	●6月定例会提出議案3件を審査
文教経済常任委員会	5. 18	●せん定枝リサイクルプラントについて視察(安城市)
	5. 19	●図書館運営について視察(刈谷市)
	5. 20	●地球温暖化防止事業について視察(掛川市)
	6. 10	●農村整備事業(藤波・中分)工事箇所、芝川小学校大規模改造工事箇所を現地調査後、6月定例会提出議案4件、請願2件を審査
建設水道常任委員会	5. 12	●水道資料館について視察(津市)
	5. 13	●土地利用マスタープランについて視察(名張市)
	5. 14	●農業公園ベルフォームについて視察(松阪市)
	6. 9	●はらいち台団地地区の地区計画区域を現地調査後、6月定例会提出議案1件を審査
福祉消防常任委員会	5. 12	●介護保険事業の現状と課題について視察(姫路市)
	5. 13	●消防・防災対策及びあしや喜楽苑について視察(芦屋市)
	5. 14	●子育て支援事業について視察(寝屋川市)
	6. 10	●上尾西保育所、民間保育所アミ・クレイシュ、知的障害者授産施設ぶちとまとを現地調査後、6月定例会提出議案7件、請願1件を審査
議会運営委員会	6. 17	●6月定例会提出請願1件を審査
	4. 14	●議場映像配信システム及び議会運営について視察(袋井市)
	4. 15 ～16	●議会活性化の取り組み及び議会運営について視察(四日市市、大垣市) ●議会運営について協議(協議回数5回)
議会報編集委員会	4. 19	●「あげお議会だよりNo.125」の内容について協議
	6. 22	●「あげお議会だよりNo.126」の内容について協議

意見書5件を原案可決

6月定例会最終日の22日、議員提出議案として意見書5件を提出し、すべてを可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆緊急地域雇用創出特別交付金の拡充・継続を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆地方交付税の大幅削減の中止を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

◆介護予防対策の拡充を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

◆容器包装リサイクル法の改正を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長

* 次回の9月定例会は、9月3日に開会の予定です。

傍聴など詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

●上尾市議会ホームページアドレス

<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

開会中は、本会議のテレビ中継を市役所1階でご覧いただけます。